

石川県偕行会総会

平成31年3月23日、30年度総会を金沢駅前「ガーデンホテル金沢」で開催した。

11時国歌斉唱に続いて30年度逝去された4名の物故者に黙祷を捧げた。会長挨拶後、会長が議長となり議事に移り、30年度の行事・会務及び会計収支が承認された。次に、平成31年度事業計画を審議し会員減少に伴う会費収入が極端に減少し、今後事業の縮小・経費の節約、偕行社との一体化推進のため、年会費千円減額し2千円とし、偕行社(会)会員を確保していくことも承認された。

副会長は、今年度も欠員とし、現会長が事務局長を兼ね、引き続き担当する。

総会では「後継者をいかに確保して、会の継承基盤を拡充していくか」が最大のテーマであり、意見を交換した。

偕行会の主旨に賛同される事務官OBにも入会を、又海・空の元自にも勧誘する意見もあった。総会終了後、懇談会を兼ねた昼食会に移った。ご来賓は、金沢駐屯地司令代理で 前田第14普通科連隊副連隊長と、3年前に第14普通科連隊を途中退職し市議会議員に当選した坂本泰弘氏。副連隊長の挨拶に引き続き坂本市議から、教育と市民の防衛意識についての熱いコメントがあった。大阪から駆けつけた61期池上様の乾杯の音頭で、会食

がはじまった。

会食では「金沢旧偕行社」を移築する東京国立近代美術館工芸館(20年開館)の工事進捗状況が話題になった。金沢市の本多の森記念公園内にある旧陸軍の第9師団司令部庁舎と、「金沢偕行社」の一部を移築するものである。

「移築前には是非見学したい」との要望があり、一般の見学者(約300名)以外の日時に特別に駐屯地の幹部20名と偕行会会員8名が、5月21日石川県の担当者の案内で見学した。旧陸軍の重厚な建物に歴史の重みを感じとれた。

来年の再会を約束し3時に散会した。

出席者は次の通り(順不同 敬称略)

61期 水口信夫、池上 弘、寺田喜久雄
陸自 岡田展旺、本田敏郎、辻 征春、
西川 清、浅地秀一、南京太郎、山尾 敏、
崎田進悟、小田原弘昌、古谷政之、森下
浩、千川康夫 (記) 4月4日千川康夫



石川県偕行会総会